

佐久地域観光振興事業

佐久エリア広域観光
講演会・ワークショップ
報告

長野県佐久地域振興局



多彩な風土で魅力を育む **しあわせ**  **信州**

事業の背景・目的

佐久エリアの観光資源

自然 水 涼しさ・冷たさ 星空
アクティビティ キャンプ場 標高
山 鹿 湖 ダム
食 道の駅 日本酒 ワイン
など

佐久エリアを訪れた皆さまには、
市町村の境なく、
佐久エリア全体の魅力を知って、
体験・体感し、
楽しい思い出を持ち帰り、
また来たいと思ってもらいたい



広域観光の推進・佐久エリア周遊の促進

実施内容

第1回

令和7年2月27日

-----講演会-----

佐久地域における観光振興
～観光産業の現状とDMO～

----意見交換会----

佐久地域の観光について
みんなで話し合う

現状の把握と、
広域観光の理解

第2回

令和7年7月23日

-----講演会-----

「ヒト」「マチ」の掛け算を
生む土壌づくり
～「広域」「共創」の小さな実践のススメ～

----ワークショップ----

佐久地域の観光資源を
見つけて、つなげる

観光資源の洗い出し
と結び付け

第3回

令和7年12月11日

-----講演会-----

広域を舞台にした
インパクトある「ものがたり」
を考えてみる

----ワークショップ----

ひらめきやアイデアの
具体化実現をみんなで考える

具体的な事業内容
の考案

実施内容 (令和7年7月23日)

<交通>

二次交通の重要性 (しなの鉄道 & 小海線)
二次交通の拠点としての小諸市の役割
二次交通があれば北から南までつながる



<観光資源>

軽井沢・小諸の歴史的町並み
旧街道 (中山道) の存在
南佐久には自然を求めた自転車愛好家
自然アクティビティの豊富さ

サイクルトレインの常設化

二次交通 小海線の利活用



実施内容

第1回

令和7年2月27日

-----講演会-----

佐久地域における観光振興
～観光産業の現状とDMO～

-----意見交換会-----

佐久地域の観光について
みんなで話し合う

現状の把握と、
広域観光の理解

第2回

令和7年7月23日

-----講演会-----

「ヒト」「マチ」の掛け算を
生む土壌づくり
～「広域」「共創」の小さな実践のススメ～

-----ワークショップ-----

佐久地域の観光資源を
見つけて、つなげる

観光資源の洗い出し
と結び付け

第3回

令和7年12月11日

-----講演会-----

広域を舞台にした
インパクトある「ものがたり」
を考えてみる

-----ワークショップ-----

ひらめきやアイデアの
具体化実現をみんなで考える

具体的な事業内容
の考案

攻めの小海線利活用

インプット /リソース	アクティビティ /アウトプット	アウトカム		インパクト
		短期的	長期的	
自然 アクティビティ 日本一の駅 恋人の聖地 道の駅 日本酒 ワイナリー ペンション 二次交通 JR 旅行代理店	小海線で結婚式 (ハレの日+列車) 酒好き(発酵も) ツアーの実施 (バス+JR) 季節ごとに 内容を変えて ツアーを実施 海外向け プロモーション の実施	行動範囲 の拡大 移動による 疲労感の減 列車の活用 範囲の拡大 インバウンド の取込み	小海線の存続 消費の拡大 /地域でお 金がまわる 小海線沿線 地域の 認知度向上 DMOの設立	地域の境が ないまち 高原列車が 走るまち (エコなまち) 新規就業 (農業・酒造・観光) が盛んなまち 小海線の 広域的な活用が できるまち
投入する資源： 資金、人材、知財、 技術、文化など、関 わって一緒に活動で きそうなヒトやモノ。	活動や製品/サービス： イベントや事象、行動 といった目に見えたり 触れたりするカタチに なったもの。	いわゆる成果： 活動や製品/事象によっ て、個人や環境に現 れる変化・効果。短期 はその場での効果、 長期的は数ヶ月や数 年程度のスパンが目 安。	成果がもたらす社会 的な変化や効果、社 会経済的变化。	

事業案

小海線ツアー のベースを作る

運行可能時間や貸切料金を広報し
事業者や個人が小海線を活用した
ツアーを作れるようにする。同時
に小海線の使い方を実際に見せる
ため、定期的なテーマ列車を運行
する実行部隊を広域でつくる
(酒、発酵、水、結婚式なども
テーマ候補)

受入想定団体

小海線沿線地域
活性化協議会

・
地域民間団体・JR

実施内容

第1回

令和7年2月27日

-----講演会-----

佐久地域における観光振興
～観光産業の現状とDMO～

-----意見交換会-----

佐久地域の観光について
みんなで話し合う

現状の把握と、
広域観光の理解

第2回

令和7年7月23日

-----講演会-----

「ヒト」「マチ」の掛け算を
生む土壌づくり
～「広域」「共創」の小さな実践のススメ～

-----ワークショップ-----

佐久地域の観光資源を
見つけて、つなげる

観光資源の洗い出し
と結び付け

第3回

令和7年12月11日

-----講演会-----

広域を舞台にした
インパクトある「ものがたり」
を考えてみる

-----ワークショップ-----

ひらめきやアイデアの
具体化実現をみんなで考える

具体的な事業内容
の考案

実施結果（アンケート結果）

参加人数

延べ65名

職種

民間事業者、観光協会、商工団体、行政

参加者からの感想・ご意見

- 広域でアイデアを出し合うことで、可能性が広がりそうで学べる部分が多かった。
- 様々な業種の方々の意見が聞けてよかった。自分一人では思いつかないことが知れた。
- アイデアをブラッシュアップし、事業に活かしていこうと思う。
- 外からみた、自分の地域の新たな発見があった。

広域観光・地域づくりの課題

- 行政や民間企業のつながり。広域のつながり。
- 発信がうまくできていない。知られていないコンテンツをどのように知ってもらうか。
- 自走できるコミュニティー（DMOなど）がない。人材不足。資金調達どうするか。

ご清聴ありがとうございました